

国際政治経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
307	国際政治経済学演習 (須賀晃一)	通年	3年以上：4単位	須賀 晃一 政政・経演・国演

副題
Subtitle

現代社会の政治経済分析 - 公共性の実現に向けて

授業概要
Course Description

このゼミでは、公共性の政治経済学を求めて、広く現代社会が抱えるさまざまな問題を政治経済学・公共経済学の視点で考えてみたいと思います。現代社会の問題の多くは特定の観点から解決できるものではなく、複眼的視点に立って公共性の実現を目標に解決のルートを探るべきものであると考えられます。これまでに繰り返し指摘されてきた効率と公平の両立を図ることは重要な観点であり、皆さんに学んでいただければならない最小限の視点です。さらに、効率と公平を政治経済システム全体の中で、さらには時間的、空間的パースペクティブの中で考察することも重要な課題であるので、これを新たな課題としたいと思います。これまでに取り上げてきたテーマに照らして考えると、具体的なテーマは以下のようになるでしょう。

1. 地球環境問題と世代間倫理
2. グローバリゼーションとグローバル・ジャスティス
3. 少子高齢化と社会保障
4. 現代の貧困と労働問題
5. 資源と食料の政治経済分析
6. 教育の政治経済分析
7. 医療の政治経済分析

これらの問題に対して、明確な価値基準を設けて、公的制度を作るとか、当事者間の合意によりルールを設定することで解決するといった方向を探るのが、このゼミで用いる接近方法の特徴です。

ゼミでは、まず現代社会の問題群の中から自分なりのテーマを決めます。そして、それに応じて2種類の課題図書を指定します。1つは各自のテーマに関する中級のテキスト、もう1つは書評用の図書(新書程度)です。まず、書評を作成し、発表してもらいます。書評の作成およびテキストの要約は春休みの宿題です。次に、グループ研究を行います。各人の選んだテーマに従ってグループを作り、グループごとにサブテーマを決めて資料収集し議論・研究し、発表原稿を作成します。指定した中級テキストが資料収集の際に指針を与えてくれるでしょう。発表グループが進行役となり、ゼミでの議論を進めてもらいます。グループごとの共同研究の成果は共同論文にまとめます。

授業の到達目標
Objectives

共同論文の作成。

授業計画
Course Schedule

- 第1回：自己紹介と今後の進め方
- 第2回：パワーポイントの使い方
- 第3回：書評の発表(1)
- 第4回：書評の発表(2)
- 第5回：書評の発表(3)
- 第6回：書評の発表(4)
- 第7回：書評の発表(5)
- 第8回：各班によるテキスト発表(1)
- 第9回：各班によるテキスト発表(2)
- 第10回：各班によるテキスト発表(3)
- 第11回：各班によるテキスト発表(4)
- 第12回：班研究のテーマ決定
- 第13回：各班での資料分析
- 第14回：班発表(1)、(2)
- 第15回：班発表(3)、(4)
- 第16回：夏合宿の反省と今後の課題の検討
- 第17回：班ごとの論文作成 - 中間発表に向けて - (1)
- 第18回：班ごとの論文作成 - 中間発表に向けて - (2)
- 第19回：各班の中間発表(1)
- 第20回：各班の中間発表(2)
- 第21回：オープンゼミ(1)
- 第22回：オープンゼミ(2)

- 第23回：班ごとの論文作成 - 最終版に向けて - (1)
 第24回：班ごとの論文作成 - 最終版に向けて - (2)
 第25回：各班の発表練習 - ISFJ政策フォーラムに向けて - (1)
 第26回：各班の発表練習 - ISFJ政策フォーラムに向けて - (2)
 第27回：班ごとの論文作成 - 政治経済学会論文コンクールに向けて - (1)
 第28回：班ごとの論文作成 - 政治経済学会論文コンクールに向けて - (2)
 第29回：4年生卒業論文へのコメント(1)
 第30回：4年生卒業論文へのコメント(2)

教科書
Textbook(s)

研究室のホームページを参照のこと。

参考文献
Reference Book(s)

研究室のホームページを参照のこと。

評価方法
Evaluation

	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	60 %	
平常点評価 Class Participation	40 %	
その他 Other	%	

備考
Note

ゼミの最終目標を卒業論文の作成に置きます。
 ゼミは通常の一方的な講義と異なり、皆さんが主役です。主役たる皆さん一人一人が積極的に参加しなければゼミは崩壊します。自分なりのテーマを持って自分で研究する態度を養い、他の人とできるだけ議論して下さい。常に「根拠は何か」と問う姿勢を持つことが大切です。この作業が就職してから大いに役に立ちます。

関連URL
URLs for References

<http://www.f.waseda.jp/ksuga/>